



「事故ゼロ」を目指して・・・

誰もが遭いたくない交通事故、残念ながら会津坂下町での事故はいまだゼロになってはいません。

町内での痛ましい交通事故を無くしたい！そんな想いを胸に日々活動されている「交通教育専門員」のみなさんにお話を伺いました。交通事故の現状を知り、みんなで交通ルールを守っていきましょう。

3 p 知っていますか？交通事故の現状

4 p 交通教育専門員インタビュー

5 p 春の交通安全運動

みんなで
つくろう
事故ゼロ
ばんげ！

知っていますか？

交通事故の現状

福島県の交通事故を知る

平成27年に県内で起きた交通事故の件数は6894件です。平成18年の13626件から少しずつ減っていき、49年ぶりに7000件を切りました。それに伴い死傷者数も右肩下がりには減っており、全体として改善傾向にあります。

しかし、交通事故による死傷者の数は全国で23番目に多く、人口10万人当たりの死傷者数は全国平均の3.24人を上回る3.98人となっています。

どの年齢がもっとも事故を起こしているのかを見てみると、交通事故件数の歩行者・自転車を含む第一当事者（事故に関わった人のなかで最も過失が多い当事者）の年齢別の数では、30歳代が最も多く1122件で、次いで16～24歳が1112件です。

この数字から見て分かるのは、「年齢が若ければ注意力があり事

故は起こさない」というわけでは決していないということです。

では、高齢者の事故件数は少なくてよい状況なのかというと、実はそうではありません。

75歳以上の第一当事者による事故発生件数は、全体の割合からみると10%に満たないのですが、事故発生件数が年々減少しているのに対して高齢者の事故発生件数は横ばいの状態が続いており、その結果、比率はどんどん上昇しています。また、交通事故による死者数は全死者数の20%を超えており、これはどの年齢よりも高い数字となっています。

次に、事故発生件数が最も多い月を見てみましょう。

ここ数年の傾向では日が短く路面の凍結や積雪が始まる12月が最も多く、反対に件数が少ない月はその年によってばらついていきます。12月の事故件数の多さは予想どおりではないかと思いますが、普段以上に気をつけていても事故が起きてしまう時期であるということが分かります。

会津坂下町の交通事故を知る

平成27年に会津坂下町でおきた交通事故は66件で、前年と比べると6件減っています。しかし、残念ながら1人の死者が出てしまいました。

特に、国道49号付近では毎年交通事故が起きており、その多くは横断歩道のない場所での横断によって発生しています。

「自分は大丈夫」「ちよつとくらい平気だろう」という小さな油断が大きな事故につながり、最悪の場合、大切な命を失うこととなります。

町で実施している交通安全運動

ちよつとした気の緩みによって起きてしまう交通事故。車だけでなく、自転車、歩行者の方にもいつも心に交通安全に対する意識をもってもらうため、季節ごとに年4回の交通安全運動を行っています。



交通教育専門員 インタビュー

みなさんは「交通教育専門員」をご存知ですか？通学時、街頭に立ち子どもたちを守ってくださる方々です。事故を無くすため、ご尽力いただいている皆さんにお話を伺いました。

●主な活動について●

通学時の街頭指導や、小学校での交通安全教室講師、お祭りの交通整理等です。街頭指導は7時30分～8時30分まで、制服を着用して路上警戒し、危険な場所から子どもを守ります。

●事故ゼロのため大切なこと●

「思いやり」と「交通ルールを守ること」です。

専門員にはドライバーを静止させる権限はなく、私たちは抑止力に過ぎない。信号のない交差点は



さとう ひろし
佐藤 浩さん



ながしま まさひろ
長島 正博さん

ドライバーの方の思いやりやマナーがあつて成立しているものです。減速しない車やマナーに欠けるドライバーもいて、残念ながら時々怖い思いをすることもあります。それは、子どもたちが危険にさらされるということ。ぜひ時間にゆとりを持って通勤してほしいですね。子どもたちも道路に飛び出したりしないよう交通ルールをしっかり守ってほしいです。

●見守りの中で感じること●

一人で歩いてくる子が心配です。

集団登校が基本だけど、登校班に遅れて一人で通学するお子さんがいます。学校までの短い距離でも何か起きたらと思うと本当に心配です。一緒に学校まで歩いたことも何度かあります。ぜひ登校班に間に合うようにお子さんを送り出してあげてください。

あとはあいさつ。最初はあまり

無かったけど、今では大きな声であいさつしてくれるようになりました。町で会った時に、「おじちゃん！」と声をかけられるのもうれしいものです。

●交通教育専門員の現状と課題●

後継者が必要です。

みんな10年以上専門員を続けてきました。会津坂下町の専門員は70歳まで。いざという時の事はいつも覚悟して臨んでいます。子どもを守る体力あつてのことですから。

●町民の皆さんへお願い●

子どもは路上で予測不可能な動きをすることがあります。

大人は子供たちから目を離さず見守ることが大切です。地域の宝物である子どもたちをみんなで見守っていきましょう。



やまぐち すすむ
山口 享さん



かわかみ よしいち
川上 義市さん

子どもたちを事故から守るため今日も街頭に立っています。



交通教育専門員常時募集中！！

お問い合わせはこちら

総務課 危機管理班 84-1533

春の交通安全運動

事故に遭わない、
起こさない!!

会津坂下警察署では春の交通安全運動を行ってきました。「事故に遭わない、起こさない!!」をテーマに会津坂下警察署 飯野 卓也^{いいの たくや}地域交通課長に守るべき交通ルールについて伺いました。

1、飛び出し、無理な横断は絶対しない

子ども、高齢者とも「止まる・見る・待つ」を徹底しましょう。保護者の方は飛び出ししないようしっかりと教えてあげてください。

2、目配り・気配り・思いやり

ドライバーは常に子どもを含む交通弱者を意識して運転してください。飛び出しに注意し、スピードを落として運転しましょう。

3、自転車も交通ルールの徹底を

飲酒運転・二人乗り・横に並んで走ること、無灯火は違反です。交差点では信号を守ることと一時停止を必ず行いましょう。また、自転車は車道の左側を走るのが原則です。歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行して走りましょう。



4、春期の取り締まり状況について

交通安全運動期間中に多くみられた事例については、よそ見運転、携帯電話を見ながらの運転（自転車も含む）がありました。また、見通しの良い道路でスピード違反や、自転車同士の出会いがしらの衝突事故もありました。交通量の多い朝と夕方は特に注意して安全運転を心がけてください。

みなさん一人ひとりが交通ルールとマナーを守り、事故ゼロにするために交通安全に努めましょう。

